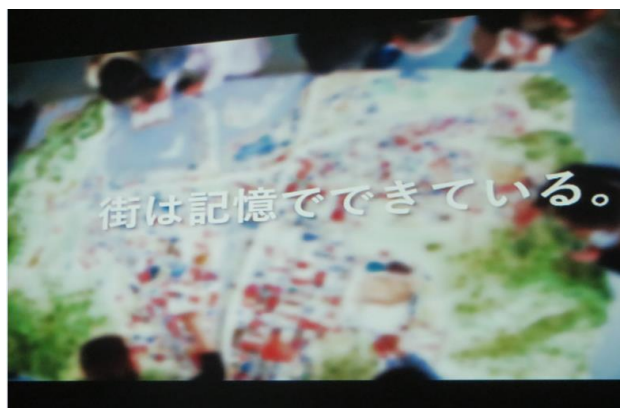


美術部は第36回近畿高等学校総合文化祭兵庫大会に美術・工芸部門に参加しました。部門開会式は11月12日（土）に兵庫県立美術館で行われ、近畿2府8県から多くの生徒が参加しました。



兵庫県立美術館の館長さんから、クリエイティブな活動に対する激励をいただき、その後のパネルディスカッションでは普段聞くことのできない様々な分野で活躍されている方々のお話を聞くことが出来ました。



特に、建築の視点から東北の被災地の支援活動をされている神戸大学の槻橋准教授の「失われた街」模型復元プロジェクトには感動しました。また、デザイン・クリエイティブセンター神戸「KIITO」の副センター長さんからは、今後期待される役割は、それぞれの専門的な分野で活躍している人たちを“ツナグ”役割であると、高校生の将来に期待していることをお聞きしました。

午後からは、神戸芸術工科大学の曾和准教授による「Lighting Motion Art」に参加し、1時間半たっぷり光のArtに取り組みました！この様子はYouTubeにupされるとのことです。



近畿総文出展作品  
「庭」2年次 西田風沙